

楠原だより

すくすく成長しています

昨年よりも一ヶ月早く梅雨入りしました。おかげで、五月二十六日のスパームーンも見ることができませんでした。雨の日が続くと、子どもたちは外で遊ぶことができません。しかたがないとは言え、やはり恨めしい日が続きます。しかしながら、梅雨は嫌なことばかりではありません。花や樹木、野菜などの農作物にとっては「恵みの雨」です。学級園で育てている花や野菜もこの雨のおかげですくすく成長しています。



1年生が育てている朝顔です。毎日、水をやりしています。

空いていた学校園に、枝豆を植えています。発芽率がとてもよくて、今年は大収穫できそうです。



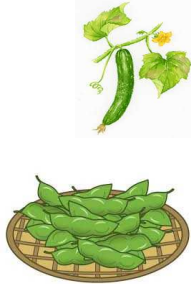
めざす児童像 思いやりのある子 楽しく学ぶ子 たくましい子

理科の勉強のため、オクラやツルレイシ、ひまわりなども育てています。日ごとに大きくなっています。



二年生は、生活科の学習で、枝豆・トマト・なす・キュウリなどたくさん野菜を植えました。毎日、水やりと声かけをがんばっています。

花や野菜を育てる活動のよさは、きちんと世話をすれば毎日すくすく成長していく様子を見ることができるところです。楽しみになります。やがてきれいな花が咲いたり、おいしい実がなったりするとうれしくなります。そういう思いを子どもたちにもっと味わってほしいと思います。



三三三魚津ヶ崎

岐宿中学校職員駐車場の出入り口のところ、学校園があります。一昨年度から小学校が理科園や生活科園(芋畑)として使わせてもらっています。今年度は、その学校園に季節ごとに魚津ヶ崎と同じ花を植え、育てようという計画しています。第一弾として、つい先日、六年生がひまわりを植えてくれました。ひまわりの種は学校で買ったもの、他、魚津ヶ崎花づくり実行委員会からも少し分けていただきました。気温が高い日が続いていることや適度に雨が降っていることが幸いしてすくすくと育っています。大輪の花をたくさん咲かせてくれるのが待ち遠しいです。



園児さんとの交流

白百合愛児園の園児さんたちは、天気のよい日には岐宿小学校周辺に散歩に来てくれます。見かけた時には必ず出向いて園児のみなさんとお話をするようにしています。今では、私のことをたくさんの子どもさんがおぼえてくれて、「校長先生!」と言って話しかけてくれるようになりました。これも一つの交流活動だと思っています。できることを、できる形で実施していきます。

